

早期景気観測調査

【10-11月期 調査結果報告書】

令和5年12月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和5年11月15日(水)～11月30日(木)
4. 調査対象： 当所会員130事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 75件
7. 有効回答率： 57.7%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【10-11 月期の動き】

**全体業況は4.0と2期連続の改善。
仕入単価は改善傾向ながら、先行き不透明な企業が
多数。
向こう3ヶ月の業況は2.7と悪化する見通し。**

10-11 月期の全業種総合の業況DIは、4.0（前期比7.8ポイント増）と、2期連続の改善となった。仕入単価DIは▲66.7（前期比20.6ポイント増）と改善傾向になったが、先行き不透明な企業が多数。向こう3ヶ月の先行き業況は2.7と悪化する見通し。

業種別では、建設業、卸売業、サービス業が改善、製造業、小売業が悪化となった。

製造業の業況DIは9.5（前期比11.6ポイント減）と2期振りの悪化となった。

○改善⇒売上DI、仕入単価DI ○悪化⇒採算DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

建設業の業況DIは0.0（前期比20.0ポイント増）と4期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI ○悪化⇒従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

卸売業の業況DIは17.6（前期比29.4ポイント増）と3期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI ○悪化⇒従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

小売業の業況DIは▲42.9（前期比19.4ポイント減）と3期振りの悪化となった。

○改善⇒売上DI、仕入単価DI ○悪化⇒採算DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

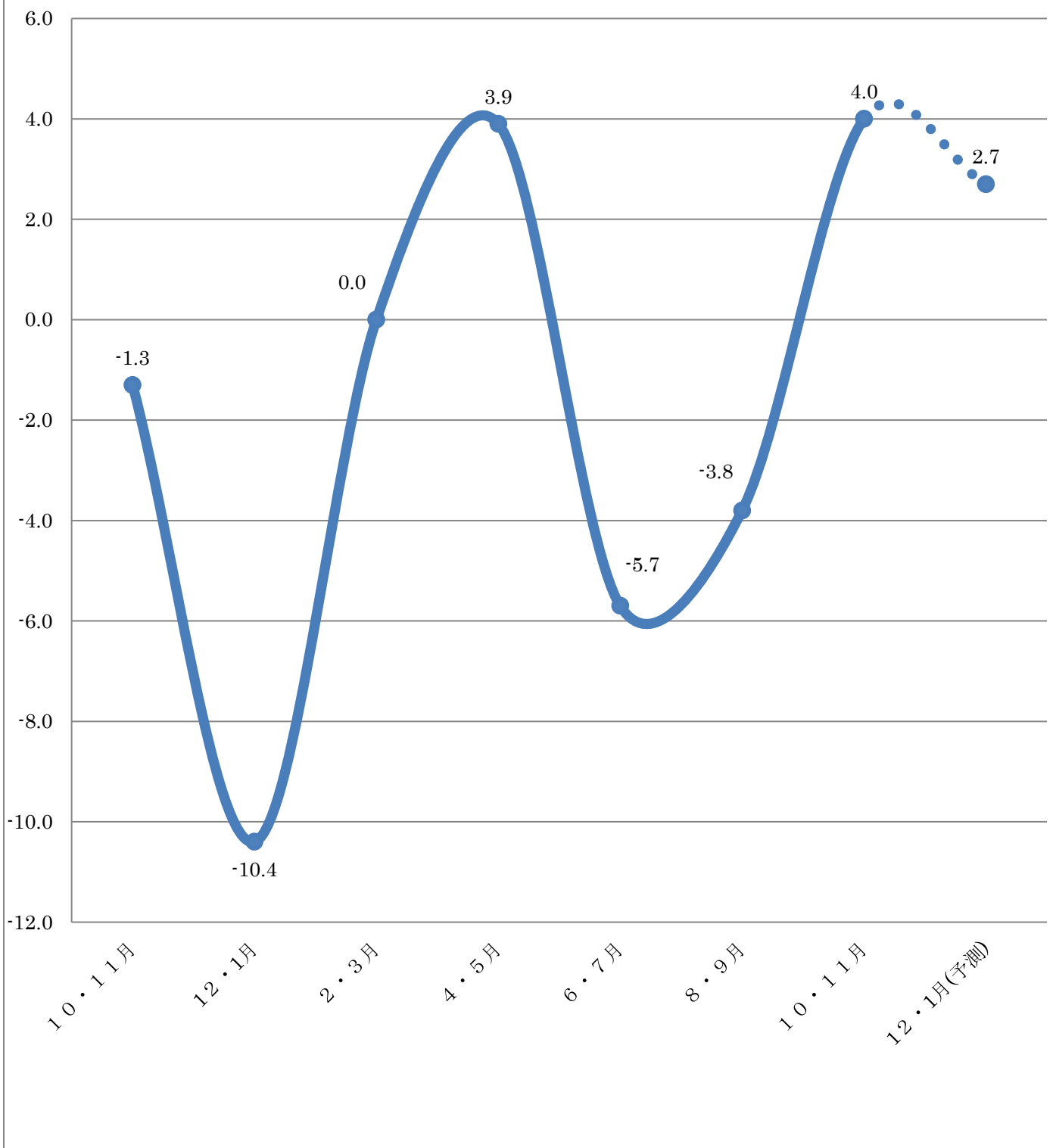
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは44.4（前期比26.2ポイント増）と3期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDI ○横ばい⇒仕入単価DI

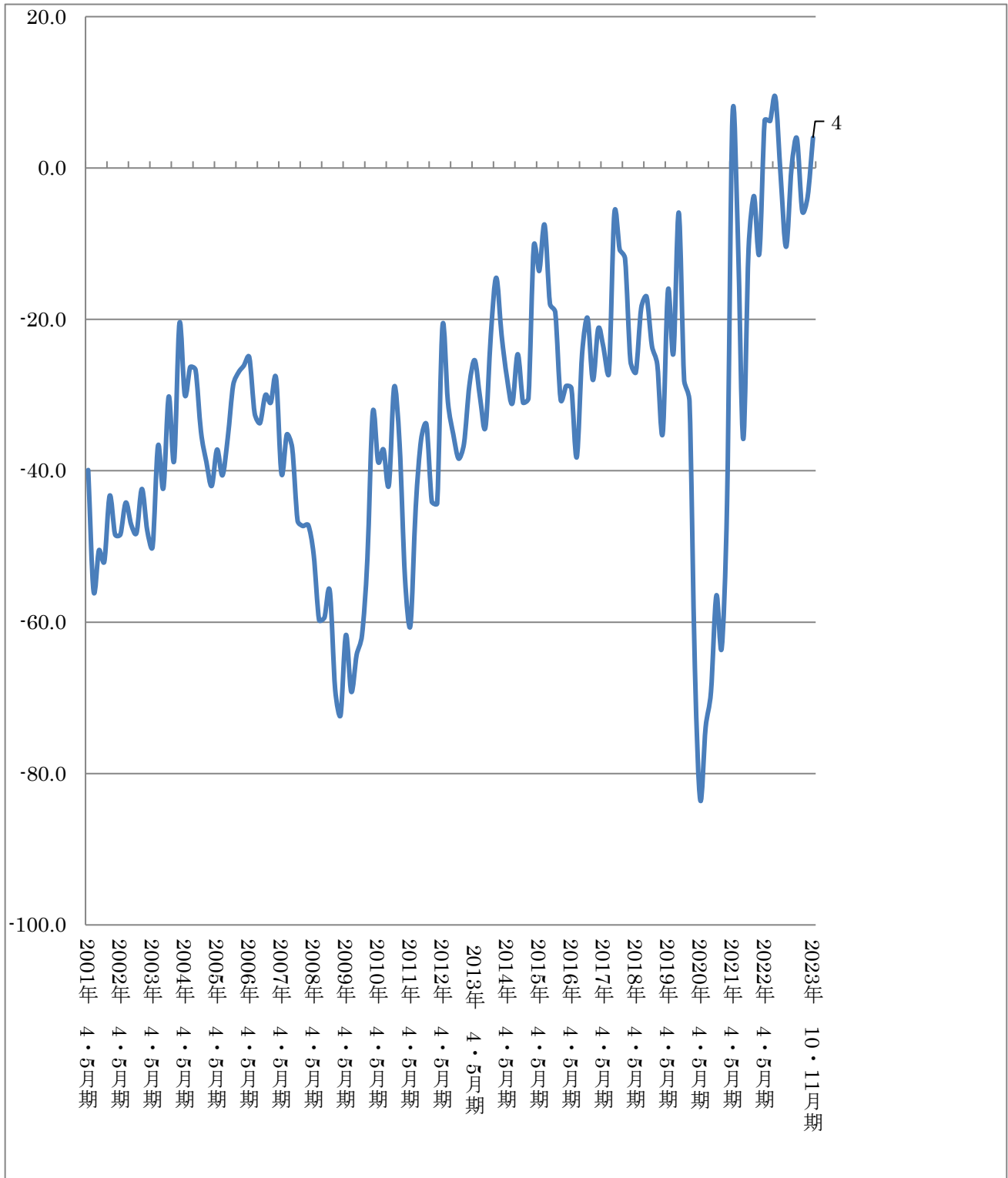
向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2023年10・11月期)

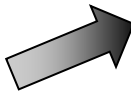

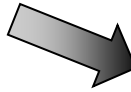




◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について








D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
4. 0	2. 7	12. 0	▲6. 7	▲66. 7	30. 7	1. 3

10-11月期の全業種総合の業況D I は、4. 0（前期比7. 8ポイント増）と2期連続の改善となった。

項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲1. 3→12. 0）採算D I（▲15. 2→▲6. 7）、

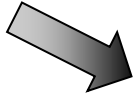
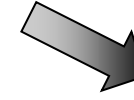
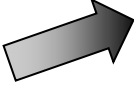
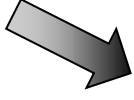
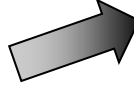
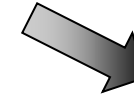
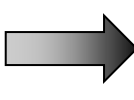
仕入単価D I（▲87. 3→▲66. 7）

○今期より悪化⇒従業員D I（41. 8→30. 7）、金融貸出しD I（3. 8→1. 3）

向こう3ヶ月の先行き業況は、2. 7と悪化する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
9. 5	▲14. 3	14. 3	4. 8	▲76. 2	9. 5	0. 0

業況D Iは9. 5（前期比11. 6ポイント減）と2期振りの悪化となった。

項目別

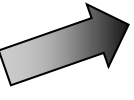
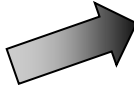
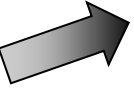
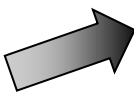
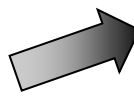
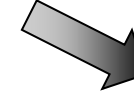
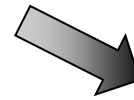
○今期より改善⇒売上D I（5. 3→14. 3）、仕入単価D I（▲89. 5→▲76. 2）

○2期連続悪化⇒採算D I（15. 8→4. 8）、従業員D I（15. 8→9. 5）

○5期連続横ばい⇒金融貸出しD I（0. 0→0. 0）

向こう3ヶ月の業況は、▲14. 3と悪化する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0. 0	21. 4	▲7. 1	▲50. 0	▲71. 4	57. 1	0. 0

業況D Iは0. 0（前期比20. 0ポイント増）と4期連続の改善となった。

項目別

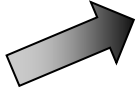
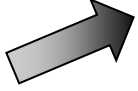
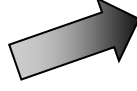
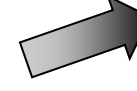
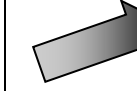
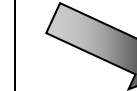
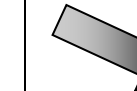
○4期連続改善⇒売上D I（▲20. 0→▲7. 1）

○今期より改善⇒採算D I（▲60. 0→▲50. 0）、仕入単価D I（▲86. 7→▲71. 4）

○今期より悪化⇒従業員D I（66. 7→57. 1）、金融貸出しD I（6. 7→0. 0）

向こう3ヶ月の業況は、21. 4と改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
17.6	23.5	23.5	5.9	▲41.2	23.5	0.0


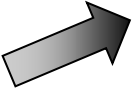
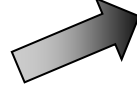
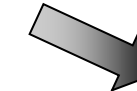
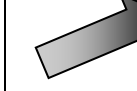
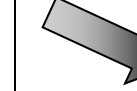
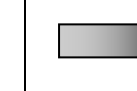
業況DIは17.6（前期比29.4ポイント増）と3期振りの改善となった。

項目別

○今期より改善⇒売上DI（0.0→23.5）、採算DI（▲35.3→5.9）、
仕入単価DI（▲82.4→▲41.2）

○今期より悪化⇒従業員DI（47.1→23.5）、金融貸出しDI（5.9→0.0）
向こう3ヶ月の業況は、23.5と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲42.9	▲7.1	▲21.4	▲28.6	▲57.1	14.3	0.0

業況DIは、▲42.9（前期比19.4ポイント減）と3期振りの悪化となった。

項目別

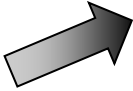
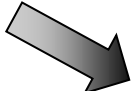
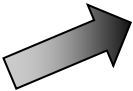
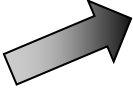
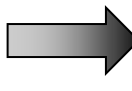
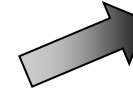
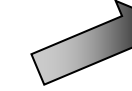
○今期より改善⇒売上DI（▲23.5→▲21.4）、仕入単価DI（▲82.4→▲57.1）

○今期より悪化⇒採算DI（▲11.8→▲28.6）、従業員DI（29.4→14.3）

○7期連続横ばい⇒金融貸出しDI（0.0→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲7.1と悪化する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
44.4	▲11.1	66.7	44.4	▲100.0	77.8	11.1

業況DIは44.4（前期比26.2ポイント増）と3期振りの改善となった。

項目別

○3期連続増加⇒採算DI（18.2→44.4）、従業員DI（63.6→77.8）

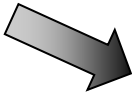

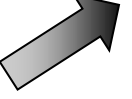
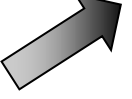


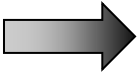
○2期連続増加⇒売上DI（45.5→66.7）、金融貸出しDI（9.1→11.1）

○3期連続横ばい⇒仕入単価DI（▲100.0→▲100.0）

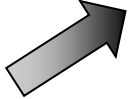

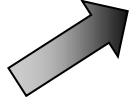




向こう3ヶ月の業況は▲11.1と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

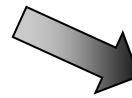

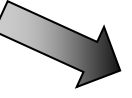

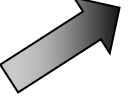


製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

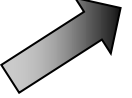
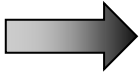
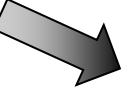

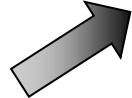
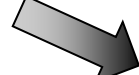
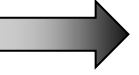
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

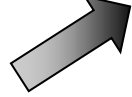

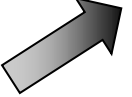

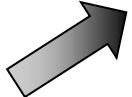

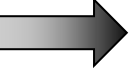
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

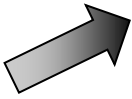
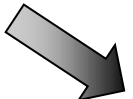
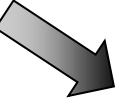
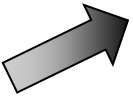
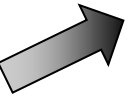
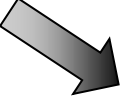
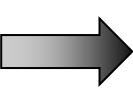
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

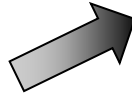
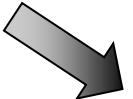
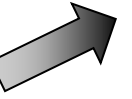
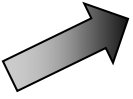

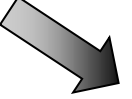
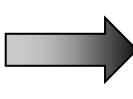
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




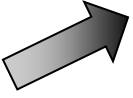
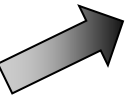
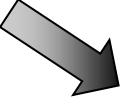
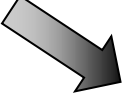
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

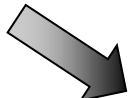
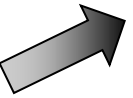
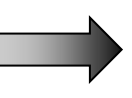
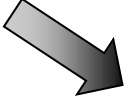
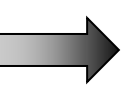
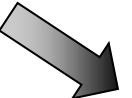
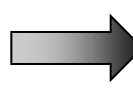
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


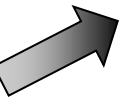
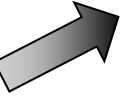
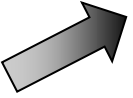
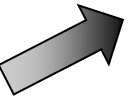
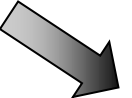
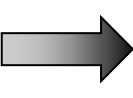
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

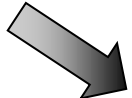
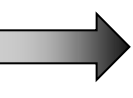
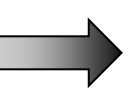
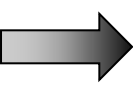
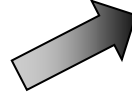
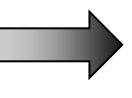
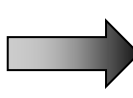
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

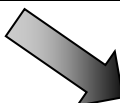
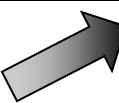

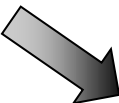
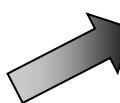
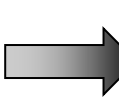
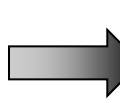
小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


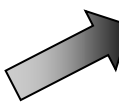
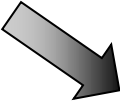
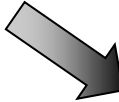
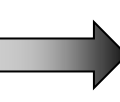
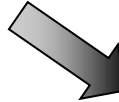
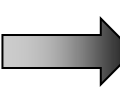
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




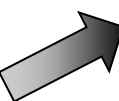
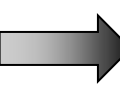
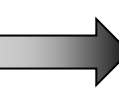
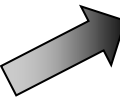
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

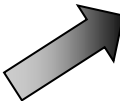
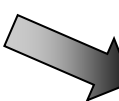


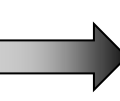

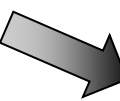
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- 穀物相場の高騰が続き、製造原価が上がっている。商品販売価格の値上げと経費削減を行うことで、採算を確保している。
- 巣ごもり需要の低下により、主力商品の売上が下降傾向。一方でホテルや飲食店の引合いは上昇傾向。原材料等のコスト高は継続しており、依然として利益を圧迫。

製造業（工業）

- 国内向けは値上げの浸透、堅調な需要により、前期以上の売上が見込める。海外向けも円安の影響により、前期以上の売上を見込んでいる。仕入価格は今後も上昇が見込まれる。

製造業（宝飾）

- 仕入単価の高騰で利益率の確保が困難な状況ではあるものの、海外展示会の再開や消費マインドの変化により、高額商品の売上が好転している。

【卸売業】

卸売業（繊維）

- インボイス制度開始のタイミングで廃業する取引先が出てきた。売上の低下や後継者の不在から、このタイミングで行ったと考えられる。

【建設業】

建設業（建築）

- コロナ禍を境に退職する人が増加。

建設業（土木）

- 職人不足が深刻化。求人を出しても人材が確保できず、最大の課題となっている。

建設業（鉄鋼）

- 仕入単価は高値変わらず、納期は若干短縮傾向。工事物件の先送り（工期延長）が多い。

【小売業】

小売業（大型店）

- 来店客数と売上が上昇傾向。特に県外からの観光客等が増加。インフルエンザの影響は気になるが、アフターコロナの生活様式は定着していると感じる。
- 残暑・異常気温等で衣料品売上が低迷。

小売業（趣味・日用品）

- 街の人流がコロナ禍前と比較しても大きく変わらず、利益も厳しい。

【サービス業】

サービス業（観光）

- 新型コロナ 5 類移行により昨年より好転してきてはいるが、コロナ禍前の水準には戻っていない。また、物価上昇や従業員確保など経費が増えており、依然厳しい状況。

以上